

クエン酸ナトリウムを含む薬剤および服薬支援剤の腸溶性コーティングに与える影響

著者	中川 祐紀子
著者別表示	Nakagawa Yukiko
雑誌名	令和3(2021)年度 科学研究費補助金 奨励研究 研究概要
巻	2021-04-01 2022-03-31
ページ	2p.
発行年	2021-08-30
URL	http://doi.org/10.24517/00065589



クエン酸ナトリウムを含む薬剤および服薬支援製剤の腸溶性コーティングに与える影響

Research Project

All ▼

Project/Area Number

21H04188

Research Category

Grant-in-Aid for Encouragement of Scientists

Allocation Type

Single-year Grants

Review Section

3180: Clinical pharmacy-related

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

中川 祐紀子 金沢大学, 附属病院, 薬剤師

Project Period (FY)

2021-04-01 – 2022-03-31

Project Status

Granted (Fiscal Year 2021)

Budget Amount [*help](#)

¥430,000 (Direct Cost: ¥430,000)

Fiscal Year 2021: ¥430,000 (Direct Cost: ¥430,000)

Outline of Research at the Start

経口で薬剤を投与できない患者は経鼻チューブや胃瘻等から薬剤が投与されるが、その際に複数薬剤を同時懸濁することによる配合変化が問題となっている。実験過程において、ランソプラゾールOD錠はクエン酸緩衝液で懸濁することにより、水よりも早期に腸溶性顆粒がほぼ全て溶解する結果が確認された。そこでクエン酸ナトリウムを含む薬剤やとろみ剤等が腸溶性コーティングに与える影響および影響を与えうる条件を明らかにする。

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-21H04188/>

Published: 2021-04-28 Modified: 2021-08-30